

令和 3 年度大船渡市立公民館運営審議会

日 時 令和 3 年 6 月 25 日 (金) 午後 2 時
場 所 大船渡市民交流館・カメラアホール
多目的ホール

【 次 第 】

1 開 会

2 あいさつ

(委員、事務局職員の紹介)

3 会長及び副会長の選任について

4 報 告

報告第 1 号 令和 2 年度大船渡市立公民館事業の実施状況について

5 協 議

協議第 1 号 令和 3 年度大船渡市立公民館事業計画について

6 そ の 他

7 閉 会

大船渡市立公民館運営審議会委員名簿

(任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

役職名	氏 名	在任年数	委 嘱 区 分	所 属 等
委員	三 浦 昌 弘	6年	学識経験者	元中学校長
委員	薄 衣 裕 昭	1年	学識経験者	元小学校長
委員	志 田 倫 代	4年	学識経験者	元小学校教諭
委員	鈴 木 博	1年	学校教育関係者	大船渡東高校長
委員	細 川 佳 紀	1年	学校教育関係者	赤崎小学校長
委員	佐 藤 善 公	3年	社会教育関係者	千歳部落会長
委員	舟 野 ひとみ	2年	社会教育関係者	元大船渡市職員 元大船渡市芸術文化協会事務局長
委員	佐々木 晋	2年	社会教育関係者	元猪川小学校PTA会長 大船渡商工会議所事務局次長
委員	平 田 睦 子	2年	社会教育関係者	浦浜西区地域会文化部長 大船渡市観光物産協会職員
委員	畠 山 邦 子	0年	社会教育関係者	歌声サロンカメラリア幹事
委員	大和田 勇	0年	社会教育関係者	元末崎地区公民館主事
委員	村 上 泰 子	4年	家庭教育関係者	元こども園園長心得 綾里婦人会会長
委員	佐 藤 公 枝	0年	家庭教育関係者	スクールソーシャルワーカー 元家庭児童相談員
委員	斉 藤 恵 里	0年	家庭教育関係者	児童家庭支援センター大洋所属 児童相談員

※ 鈴木博委員、細川佳紀委員の任期は、令和3年4月26日～令和5年3月31日

※ 在任年数は、令和3年3月31日までの通算年数

社会教育法 抜粋

(公民館運営審議会)

第29条 公民館に公民館運営審議会を置くことができる。

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

第30条 市町村の設置する公民館にあつては、公民館運営審議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、市町村の教育委員会が委嘱する。

2 前項の公民館運営審議会の委員の定数、任期その他必要な事項は、市町村の条例で定める。

大船渡市立公民館設置条例 抜粋

(審議会の設置)

第4条 法第29条第1項の規定に基づき、公民館に大船渡市立公民館運営審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(審議会の委員の定数及び任期)

第5条 審議会の委員の定数は、30人以内とする。

2 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

大船渡市立公民館規則 抜粋

(審議会の会長及び副会長)

第5条 大船渡市立公民館運営審議会(以下「審議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(審議会の会議)

第6条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、中央公民館において処理する。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、公民館の運営に関し必要な事項は、教育長の承認を受けて、館長が別に定める。

大船渡市立公民館運営審議会会長及び副会長の選任について

大船渡市立公民館規則第5条第1項の規定により、大船渡市立公民館運営審議会会長及び副会長の選任を求めます。

令和3年6月25日

大船渡市立中央公民館
館 長 千 田 晃 一

職 名	氏 名
会 長	委員
副会長	委員

報告第 1 号

令和 2 年度大船渡市立公民館事業の実施状況について

令和 2 年度大船渡市立公民館事業の実施状況について、別紙のとおり報告します。

令和 3 年 6 月 25 日

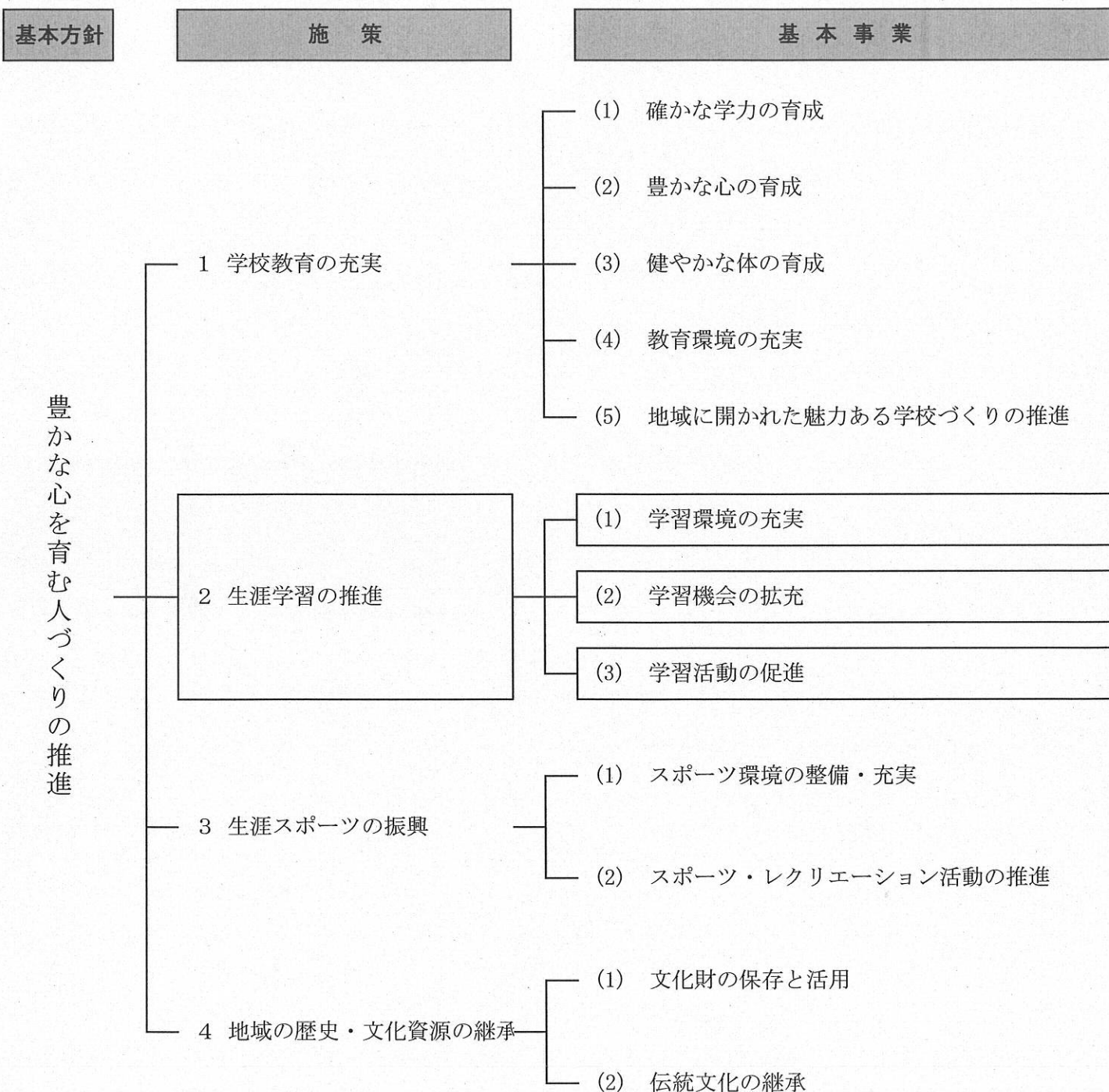
大船渡市立中央公民館

館 長 千 田 晃 一

大船渡市教育振興基本計画

計画の体系

※ 中央公民館の所管は、口で囲われた部分



報告第1号 令和2年度大船渡市立公民館事業の実施状況について

【 施 策 】 生涯学習の推進

基本事業	計 画 内 容
(1) 学習環境の充実	ア 生涯学習活動を推進する。 ・ 市立公民館を活用した生涯学習活動を推進し、施設の更なる利用促進を図る。 イ 社会教育施設・設備 ・ 市民の多様な学習ニーズに対応した施設・設備の充実を図る。 ・ 老朽化した施設の適切な維持管理に努める。 ・ 生涯学習活動の核となる市立公民館の学習環境の一層の充実を図る。
(2) 学習機会の拡充	ア 魅力ある学習プログラムを提供する。 ・ 社会の変化に伴う課題や市民の多様なニーズを把握し、魅力ある学習プログラムを提供する。 ・ 生涯学習関連情報の収集・周知を図る。 イ 世代に応じた講座等を実施する。 ・ 子育て世代を対象に、家庭教育や子育てに関するセミナーを開催する。 ・ 若者の郷土愛や地域の絆を醸成し、青少年の体験活動などの機会を提供する。 ・ 高齢者学級等の充実を図る。 ウ 施設の特色を生かした学びを提供する。 ・ 連携協定を締結している大学や地域の各種団体などと連携し、リカレント教育の視点を取り入れ、学習ニーズや地域課題に対応した各種講座を開催する。 ・ 学びを支える人材の育成と指導者の充実を図る。

(1) 学習環境の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
施設・設備の供用	通年	大船渡市民交流館・カメラホール（利用者11,575人、1,073件） 三陸公民館（利用者4,523人、261件）
施設・設備の整備	4～3月	大船渡市民交流館・カメラホール：空調設備設置工事 大船渡地区公民館：空調設備設置工事 末崎地区公民館：消防設備修繕 蛸ノ浦地区公民館：消防設備修繕 猪川地区公民館：消防設備修繕 立根地区公民館：消防設備修繕 日頃市地区公民館：消防設備修繕
施設の維持管理	4～3月	大船渡市民交流館・カメラホール：施設管理業務等を指定管理者（株式会社小川）に委託 三陸公民館：施設管理業務等を指定管理者（株式会社小川）に委託
課 題		・ 施設・設備の老朽化に伴い、修繕等が必要な箇所が多くなっており、緊急度の高いものから対応するとともに、市公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に更新・長寿命化を図る必要がある。

(2) 学習機会の拡充

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
生涯学習情報の提供	通年	市ホームページ、中央公民館報「カメラ」により学級・講座の情報等を提供
生きがいセミナー	9～11月	市内9地区で学習会「健康、交通安全、歴史、新型コロナ対策、医療、介護、ニュースポーツ等」を実施（入学生498人、延べ参加人数662人）
地域再生支援文化活動事業	9～3月	市内10地区で学習会（リラクゼーション、歴史文化、農業学習、寄せ植え講座、スマートフォン教室、ニュースポーツ等）を実施（延べ参加人数338人）

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
市民講座	11月	北里大学市民公開講座（企画調整課と合同開催）を実施（参加人数65人）
家庭教育学級	11～1月	小中学校（合同開催）、こども園等4カ所で実施（延べ参加人数156人）
青少年体験学習事業	12～1月	ドローンのプログラミング・操縦体験、陶器作成を実施（延べ参加人数33人）
成人向け国際交流講座	9～11月	初級英会話講座（全10回）を実施（受講者16人、延べ参加人数120人）
市民IT講座	1～2月	初心者向けIT講座（全4回）を実施（受講者25人、延べ参加人数80人）
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため、市民講座では明治大学連携講座、市内各地区における生きがいセミナー、地域再生支援文化活動事業の学習会が中止になった。オンライン方式による開催など、感染防止対策を図る必要がある。 ・全事業において、日程の選定が難しい（学校やこども園等の地域行事、クラブ活動、その他市内イベントとの調整により参加人数に影響がでる）。 <p>【家庭教育学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と同様学習計画の立案段階で受け入れ側の小中学校の担当者との連絡調整が課題となっている。 	

協議第 1 号

令和 3 年度大船渡市立公民館事業計画について

令和 3 年度大船渡市立公民館事業計画について、別紙のとおり提案します。

令和 3 年 6 月 25 日

大船渡市立中央公民館

館 長 千 田 晃 一

協議第 1 号 令和 3 年度大船渡市立公民館事業計画（案）

【 施 策 】 生涯学習の推進

基本事業	計 画 内 容
(1) 学習環境の充実	<p>ア 生涯学習活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立公民館を活用した生涯学習活動を推進し、施設の更なる利用促進を図る。 <p>イ 社会教育施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の多様な学習ニーズに対応した施設・設備の充実を図る。 ・ 老朽化した施設の適切な維持管理に努める。 ・ 生涯学習活動の核となる市立公民館の学習環境の一層の充実を図る。
(2) 学習機会の拡充	<p>ア 魅力ある学習プログラムを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の変化に伴う課題や市民の多様なニーズを把握し、魅力ある学習プログラムを提供する。 ・ 生涯学習関連情報の収集・周知を図る。 <p>イ 世代に応じた講座等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代を対象に、家庭教育や子育てに関するセミナーを開催する。 ・ 若者の郷土愛や地域の絆を醸成し、青少年の体験活動などの機会を提供する。 ・ 高齢者学級等の充実を図る。 <p>ウ 施設の特色を生かした学びを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携協定を締結している大学や地域の各種団体などと連携し、リカレント教育の視点を取り入れ、学習ニーズや地域課題に対応した各種講座を開催する。 ・ 学びを支える人材の育成と指導者の充実を図る。

(1) 学習環境の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	事 業 内 容
施設の維持管理業務の民間委託	通年	カメリアホール、三陸公民館の施設管理業務を指定管理者に委託
施設・設備の整備	通年	カメリアホール、三陸公民館、地区公民館の施設修繕等

(2) 学習機会の拡充

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	事 業 内 容
生涯学習情報の提供	通年	市ホームページ、中央公民館報「カメリア」により学級・講座の情報等を提供
生きがいセミナー	5～12月	高齢者の生きがいや教養の向上に資するため学習会を開催する。 〔対象〕市内11地区の高齢者（60歳以上）
地区連携講座	5～2月	各地区公民館と連携し、地域課題等に関する学習会を開催する。 〔対象〕市内11地区の住民
市民講座	7～11月	大学等と連携し、共通テーマに関する専門的分野（国際交流を含む）の学習機会を提供する。〔対象〕市民
家庭教育学級	6～2月	子どもの成長期における家庭や地域が果たす教育的役割や、課題等に関する学習機会を提供する。〔対象〕小・中学校、幼稚園・保育園・こども園のPTA、地域住民等
青少年体験学習事業	7～12月	子ども達の自主的な活動の促進と健全育成のため様々な体験学習の機会を提供するとともに、国際コミュニケーション能力の育成や国際理解の増進を目的とした英語スクールを開催する。〔対象〕年中・年長の園児、小学校1～2年生
成人向け国際交流講座	6～7月	市民の国際コミュニケーション能力向上を目的とした初級者向け英会話講座を開催する。〔対象〕高校生以上の市民
市民IT講座	8～9月	IT活用力を強化することを目的とした初級者向けIT講座を開催する。〔対象〕住民